

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ポピー		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との信頼関係の構築：幸いにも保護者様より「親身な支援」との身に余る評価を頂戴しており、今後もこの信頼を損なわぬよう共感的な支援を継続して参ります	徹底した衛生・環境管理の継続：管理表を用いた定期的な換気やジョイントマットの毎日消毒など、お子様が安心して過ごせる清潔な環境維持に細心の注意を払っております	環境の構造化と設備投資：パーテーションの増設等を進め、お子様がより集中しやすく、かつ個別に心身を休められる環境整備を計画的に推進して参ります
2	多角的な視点による支援計画の策定：児童発達支援管理責任者のみならず、現場職員が共通理解のもとで、お子様の最善の利益を最優先に考えた計画策定に努めております	安全を最優先した個別対応：施設が2階にあるため、階段の昇降時には必ず職員がマンツーマンで付き添うなど、物理的環境の制約を補う安全配慮を徹底しております	支援プログラムの更なる多角化：会議形式での意見集約を強化し、全職員の知恵を絞ることで、お子様に新鮮な刺激を提供できる質の高いプログラム開発に努めます
3	連携体制：支援開始前の打ち合わせを徹底し、役割分担や支援内容を共有することで、チーム一体となった支援体制の維持に努めております	地域社会との接点作り：日々の外周清掃や地域住民の方々への挨拶を通じ、まずは事業所を正しく知っていただくための地道な活動を継続しております	社会適応訓練の推進：集団での移動訓練を重ねるなど、将来的な地域活動への参画を見据えたインクルージョンの取り組みを、一歩ずつ着実に進めて参ります

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	客観的評価ツールの活用不足：現在は独自ツールによるアセスメントが中心となっており、標準化されたツールの導入による客観性の向上が喫緊の課題であると認識しております	情報共有における時間的制約：送迎や記録業務との兼ね合いから、当日中に全職員で振り返りを行う時間を十分に確保できず、翌日の共有に留まっていることが要因の一つです	各種マニュアルの周知徹底：策定済みの安全計画や防災マニュアル等について、HPでの公開や配布を早急に進め、ご家族に安心をお届けできる周知体制を整えます
2	地域交流の実績不足：地域住民の方々の招待や他施設との交流実績が乏しく、地域社会に開かれた事業運営において、未だ改善の余地が多々あると考えております	情報発信ツールの周知不足：システム連絡帳（HUG）等を導入しておりますが、保護者様への啓発が十分ではなく、既読率の向上や双方向の活用に課題を残しております	専門機関との連携の質の向上：児童発達支援センター等からの助言を漫然と受けるのではなく、質問事項を事前に整理し、記録に残すことで支援の質向上に繋げて参ります
3	家族支援プログラムの具体化：職員の研修受講は進めているものの、ペアレント・トレーニング等の具体的なプログラムを定期開催する体制構築には至っておりません	地域連携における経験不足：当地域での運営実績がまだ浅く、地域交流を具体化するためのノウハウ蓄積や関係各所への働きかけが途上段階でございます	保護者様の交流機会の創出：個別相談の充実を図りつつ、保護者会等の開催についてニーズを丁寧に汲み取り、保護者様同士が繋がれる機会を慎重に模索して参ります